

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 173

2022

8.30



コミコミスクスク

松が丘小学校ブックスポットでペンキぬり



6月に開設された松が丘小学校ブックスポットの本棚のペンキ塗りが行われました。

松が丘小学校ブックスポットは、明石の一番東端にあるブックスポットです。昨年度末から地域の皆さんに本の寄贈を呼びかけ、たくさんの本が集まりました。その本にブックママさんたちがブックシートを貼り、貼り終わったものから本棚に並べていきました。急ごしらえで、本棚も廃棄するはずだった古い本棚でしたが、ペンキ塗りボランティアさんのおかげで、見事にかわいい本棚に生まれ変わりました。今回のペンキ塗りボランティアさんの募集は、チラシなど配らず、ホームページだけの案内でした。この暑さの中で集まってくれるか心配していましたが、子どもも含めて10名を超えるボランティアさんが集まりました。みなさんが張り切ってくれたおかげで、予定していたよりも早くペンキ塗りを終えることができました。9月にはカラフルないすも入る予定です。涼しくなったら、さらに地域の方が立ち寄りやすくなるかと思えます。

ボランティアさんの中には、ふだんからブックスポットを利用している幼稚園の保護者の方もいました。お子さんと一緒に参加していただいたようでうれしかったです。ブックスポットが地域の皆さんの憩いの場になっていると感じました。参加いただいたボランティアの皆さん、暑い中

ありがとうございました。作業の途中に「体育大会までに運動場の草抜きをしようか」という話も出たようです。「できる人が、できることを、できる時に」この指とまれ方式での集まりがこれからも広がっていけばいいなと思います。そんなペンキ塗りが終わった“ブックスポットに飾ってください”と折り紙で四季（今回は春と夏）を描いた作品が届きました。春夏それぞれの昆虫や動植物が折り紙で折られた楽しい作品です。ひょっとしたら、松が丘プロジェクトでの子どもとの折り紙の交流がきっかけかなと想像してしまいます。近くに寄られたら是非ご覧ください。



松が丘いどばた会議



8月24日(水)に、あさぎり・おおくら総合支援センターで、松が丘いどばた会議が開催されました。このいどばた会議を行うことになったきっかけは、昨年度、6年生の松が丘プロジェクトを進める中で、「なぜ地域との交流が必要なんだろう?」「交流をするだけでいいの?」という素朴な疑問が先生や地域の方の中に生まれてきたことと、教師が地域学習を開発していく中で、教師自身ももっと地域の

ことを知る必要があると感じたことからです。そうした中で、昨年度の研究の反省から、教師と地域や保護者の方との対話の時間を持ってないかという意見が出され、今回の松が丘いどばた会議を開催する運びとなりました。

開催にあたり、まちづくり協議会理事会でのアナウンスとホームページでの案内だけで参加募集したため、当日どれくらい的人数が集まるか校長先生は不安だったようです。また、先生方もいどばた会議が近づくに連れ、地域の方とうまく話せるか不安だったようです。当日は、暑い時間帯にもかかわらず、地域や保護者の方が総勢32名集まりました。会議が始まってしばらくは緊張した様子でしたが、コーディネーターさんの進行で自己紹介等を行うことで気持ちがほぐれ、子どものこと、学校のこと、地域のことなど本音で話ができるようになってきました。7つのグループに分かれての話し合いでしたが、どのグループも和やかな雰囲気に対話が進みました。

会場のあさぎり・おおくら支援センターは松が丘南小学校の跡地に建てられたものです。現在、松が丘小学校に勤めている先生の中には、松が丘南小学校という学校があったことを知らない先生もいることでしょう。対話の中で「自分の子どもが通っていた学校がなくなり、地域の子どもの数も少なくなってさびしい」といった話も出ていました。別のテーブルでは、小学校のボランティアに参加されている方が、「学校に行くと孫にいっぱい会えるから楽しみ」と話されている方もいました。松が丘の子どもたちは地域の方からたくさんの「愛」をいただいていると感じました。課題面では、地域の高齢化や、保護者世代も仕事で忙しく、地域での付き合いが希薄になっており、世代交代がうまく進んでいないといった話が出ていました。先生たちも地域の特徴や課題を地域の方から生の声で聞いたのは貴重だったと思います。これから地



域学習を開発していくうえで、今回の話題が生きてくるのではないかと思います。さらに、「先生たちの仕事はとても大変だ」「地域に何かできることはないか」といった先生たちを労う声も多くありました。子どもたち同様、先生たちも地域から「愛」をいただいていると感じました。

その他、地域の方から松が丘プロジェクトやホテル観賞会の案内がより早く、よりスムーズに届くようにしてほしいという願いや、校長先生の名前をもちり、松が丘のよさを発信する「迫チャンネル」の開設を望む声もありました。これからどんなアイデアが出てくるか楽しみです。そして、今後も継続してこんな対話ができるといいねという声も多く聞きました。学校にとっても、地域や保護者の方にとっても貴重な時間になりました。

松が丘いどばた会議に参加された先生方の感想が届きましたので紹介させていただきます。

(一部抜粋)

- ➡民生さんとお話できてよかったです。学校が自宅から遠かったみたいで、なかなか学校に来にくかったそうです。今日は涼しかったので参加しましたということでした。ありがたいです。
- ➡話やすく温かい方たちばかりで、和やかな雰囲気地域や子どもたちのことを話し合うことができ、有意義な時間になりました。学校に対するイメージや地域での困りごとをあのような形で気軽に聞くことが、ふだんの仕事をしていく中ではなかなか厳しいので、また次の「第2回いどばた会議」があるといいなと思います。定期的に行うことで、地域と学校との関係もさらによくなり、学習を進めるうえで大きな味方になってくれるのではないかと思います。
- ➡「松が丘小が地域に開かれた小学校で来やすい」と言ってもらえたことが一番うれしかったです。
- ➡地域の方々と話し合いをするのは少し硬いイメージがあり少し緊張していましたが、終始笑顔で過ごせました。みなさんとても優しくかったです。地域の方が抱えている思い(課題)をダイレクトに聞くことができたり、松が丘の昔話を聞いたり、学校が地域を知るのによいきっかけとなりました。
- ➡保護者以外の地域の方と話す機会はとても新鮮でした。参加されている方々は、地域・子どもたちのためにさまざまな活動をされていることがわかりました。
- ➡地域と子どもだけでなく、地域の中での大人同士でのコミュニケーションが非常にとりづらいため、学校がそのような場を意図的に設定するのも意義があると思いました。保護者世代の時間的・心理的・環境的に余裕がある時、保護者が集まる学校行事の際に、そのようなコミュニケーションの場を設けることが大切かも知れないと思いました。
- ➡民生委員さん、集会の役員さんとの交流、とても楽しかったです。終了後も話が終わりませんでした。子どもたちを一人にさせないために見守っていただいているアットホームな地域であると思います。
- ➡とてもいい機会になりました。学校が考えている課題と地域が思っている課題が同じ(似ている)ということがわかりました。また、学校で出会う地域の方とはよく話す機会もあったけれど、初めて交流させていただく方がいて、松が丘の事情を知ることができました。今日の情報をこれからの学習にいかに取り入れるか考えていければと思いました。
- ➡学校発信の大切さ、わたしたち教師にどんなことができるかな?と考える時間になりました。一回で終わらず継続していくことが大切だと思いました。学校に戻る車の中で話題になりました。
- ➡地域での子どもの様子聞けたり、地域の方々の意見が聞けたりして、すごく有意義な時間でした。松が丘に来て、地域の方々にすごく助けていただけてありがたいなと思う反面、地域の方々に負担になっていないのかなと思うこともありました。今日、地域の方々から「わたしたちも楽しい」という言葉を聞いて安心しました。定期的に今日みたいな会があるといいという意見が出たので、続けていけたらいいなと思います。
- ➡とてもいい会になったと思います。地域や保護者の方と真摯に向き合って地域や学校のことを話し合う機会はなかなかないので、貴重な時間になりました。地域の人も予想以上にたくさんの方が来て、松が丘小学校と地域のつながりの深さを改めて感じました。これからも続けていけたらと思います。
- ➡地域で子どもを育てていくきっかけとしてとてもよかったと思います。
- ➡関係性を築いた上で、熟議を重ねていくことにより話が深まると思うので、今後も定期的開催できたらいいと思います。

- ➡交流、貢献のとらえ方について話し合うところまでいかなかったので、回を重ねていくごとにテーマをしぼっていかればよいと思いました。
- ➡地域の方と話せるいい機会でした。話を聞く中で、お一人の方が地域の中で何役もされていて、引継ぎが難しいと感じました。松が丘小学校は「開かれた学校」だと話され、学校(子どもたち)に関わるエネルギーをもらえるという言葉が印象的でした。松が丘プロジェクトも深化させたいと思います!!
- ➡「The 井戸端会議」という感じで、地域の方の校区についての話を聞くことに終始し、自分が聞きたかった松が丘プロジェクトについてはほとんど聞けませんでしたが、地域の方の高齢化が進み、民生委員の方がゴミ出しを手伝っている現状や、地域のイベントをしても子どもやその家族が集まらず、交流が難しいという話を聞くことができ、地域の方が直面する課題を聞けたと思います。今日のいどばた会議で地域の方が交流や人と人との結び付きを欲していることを改めて知ることができました。
- ➡大きなテーマ設定で自由に話し合えたので、本音が出やすく、また、各グループでいろいろな話が出ていたので面白く感じた。
- ➡大変有意義な時間でした。今後もぜひやりたいです。地域の方も教員と話す機会がないからとてもよかったとおっしゃっていました。欲を言えば、同じグループの方だけでなく、もっといろいろな方とお話してみたかったです。貴重な時間をありがとうございました。
- ➡何をしゃべったらいいのだろうか・・・と不安を抱えて行きましたが、気さくで温かい方ばかりでよかったです。「保護者」の意見だけではなく、「地域」の意見を聞くことができよかったです。わたしたちが知らないところで、挨拶等、子どもたちにいろいろなことを教えてくださっていることもわかりました。「先生の困っていることを教えて」「地域でできることはない?」と一言くださる方もいました。子どもたちを学校でしっかり育てていかなければ・・・と思い、日々考え、悩むこともありますが、地域の方も一緒に子どもたちを見守り育ててくださっていることがわかり、肩の荷が少し軽くなったような気がしました。
- ➡「まちづくり協議会の理事会で校長先生から学校の様子を聞いているが、こうしていろいろな先生方と話をしたり聞いたりするのもいい」という声を聴きました。先生方と地域の方が日頃思っていることを出し合い交流するすばらしい一歩が踏み出せたと思います。
- ➡「定期的にこのような会をしたい」という意見があったように、硬くならず話せる場を今後もつくっていかれたらと思いました。
- ➡学校発信が親世代を巻き込むことに有効であるようです。「しんどい、無理」とならない程度で学校発信し、親世代を巻き込むことができればと思います。
- ➡ふだん関わることのできない地域や保護者の方と話せてよかったです。松が丘プロジェクトの参考にもなりそうな意見をいただいて今後の役に立ちそうです。答えや解決策を求め過ぎず、まさに「いどばた」感が気楽でよかったです。
- ➡地域の方のふだんでは聞けない本音に近い意見が聞けて有意義な時間でした。改めていい校区だと感じました。この輪を広げるためにはどうすればよいのかが課題だと感じました。

校区を校長先生が歩いていると、松が丘いどばた会議のことで声をかけられるそうです。学校への関心が高まってきていることを感じます。

(文責：北本)